PLAN INTERNATIONAL

FACT SHEET

「アフリカの角」における食料危機

背景

危険で壊滅的な人道上の被害を回避するために、今すぐ行動を起こすことが求められている。すでに飢えで命を落としている子どもたちがおり、私たちには時間がない。これ以上の遅れは許されない。

アフリカ大陸東端の「アフリカの角」では、相次ぐ雨季の降雨不足によって、過去40年間で最悪の干ばつに見舞われている。ケニア、ソマリア、エチオピアは、深刻な水不足、食料価格の上昇、食料供給力の低下、家畜の死亡、食料不安の急激な高まりに直面している。ケニア政府（2021年9月）とソマリア政府（2021年11月）は、国家非常事態を宣言した。

2016年後半以降、例外的な乾季が複数回、例外的な雨季と交互にやってきた。このような雨季は、洪水、避難民、有害なイナゴの発生といった壊滅的な影響を生み出し、合わせて約340万人に影響を与える、作物と家畜の損失を引き起こした[1]。

こうした数年にわたる回復の機会がない複合的な災害は、絶え間ない紛争とCOVID-19によって悪化し、それらは、大規模な経済的混乱を引き起こし、何百万人もの人々を極貧状態に追いやるとともに、健康への直接的な影響も及ぼしている。

数字で見る「アフリカの角」の現状

1,300万人

2022年第1四半期にエチオピア、ケニア、ソマリアで深刻な食糧不安と水不足に見舞われている人々の数

570万人

エチオピア、ケニア、ソマリアで、急性栄養不良に陥っていると予想されている子どもの数

140万人

ソマリアで、水、食料、牧草を求めてこの数か月間で避難生活を送る人々の数

1 https://bit.ly/3IQmfSz

数字で見る「アフリカの角」の現状

50万人
ソマリアの紛争で強制移住させられた人々の数

17万5千人
エチオピア南部で干ばつによって移動を強いられた避難民の数

70%
ケニアの一部における農作物生産量の減少率

150万頭
ケニアで死亡した家畜の数

150万頭
エチオピアのソマリア、オロミア、スンプ地方で死亡した家畜の数。過去40年で最悪となった

80%
ウクライナ危機以降の小麦価格の高騰率

44億米ドル
2022年にエチオピア、ケニア、ソマリアの約2,910万人に救命支援と保護

今、壊滅的な規模の人命被害が現実のリスクとなっている。すでにセーフティネットが弱体化し、家族は生き延びるために必死の手段に訴えており、中でも子どもと女の子は最も大きな打撃を受けている。数千人もの人々が食料、水、牧草地を求めて、すでに故郷を離れている。

気候変動とラニーニャ現象は、長期的かつ持続的な乾燥をもたらすように作用している。現在の気候予測では、2022年3月から5月にかけてラニーニャのような異常気候になる確率は90%であり、最新のICPAC(注: 開発に関する政府間当局、気候予測・応用センター)気象評価では、2022年5月まで累積的に乾燥した状態になると予想されている。この評価では、MAMの雨が平年並みであっても、この地域は長期的な降雨不足が続くとされている[2]。

ウクライナ紛争が東部アフリカ地域の食料アクセスに与える影響

ウクライナ戦争はこの食料不安をさらに悪化させ、小麦、トウモロコシ、ヒマワリ油、肥料の供給を危うくし、燃料価格を高騰させ、インフレを引き起こしている。これは、各国間の深刻な政治的緊張を引き起こす土壌となっている[3]。

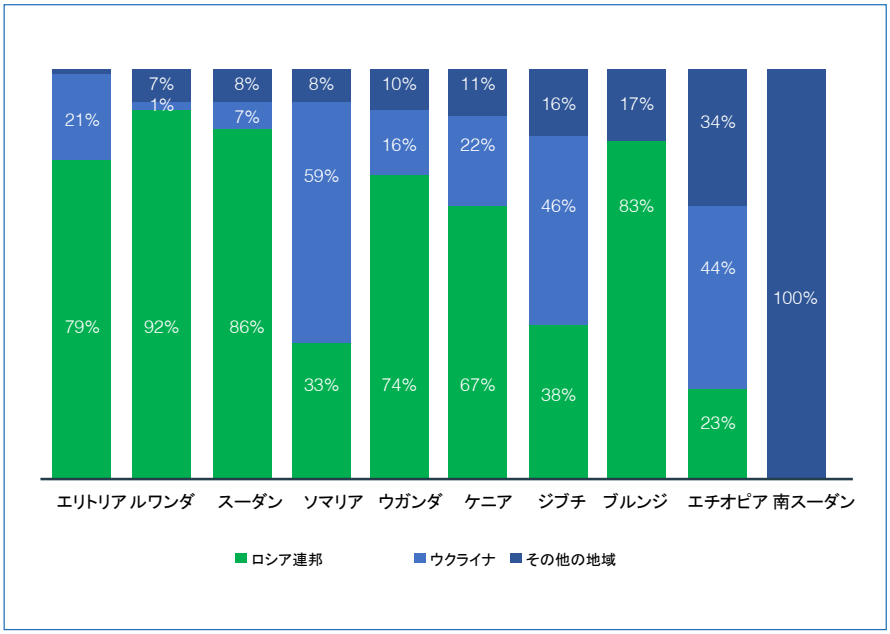
東アフリカは、小麦の供給の90%をロシアとウクライナの2カ国に依存しているため、特に深刻である。東アフリカでは、小麦が国民の平均的な穀物消費量の3分の1を占め、その84%を輸入でまかなっている。小麦の価格は侵略以来80%も高騰しており、さらなる混乱が予想される[4]。

東部アフリカ地域の平均的な穀物消費量の3分の1は、小麦および小麦製品である。

市場購入への依存度が高く、穀物代替能力が低いため、すでに食料価格の急激な高騰は、COVID-19影響に直面している東アフリカの都市の貧困層に、最も深刻な打撃を与えると思われる[5]。

2 https://www.icpac.net/documents/493/Multi_Agency_East_Africa_Drought_Alert_v7_f.pdf
3 https://bit.ly/3DIz99P
4 https://www.climatechangenews.com/2022/03/22/war-in-ukraine-is-compounding-a-hunger-crisis-in-east-africa-charities-warn/
5 https://docs.wfp.org/api/documents/WFP-0000137369/download/

図1：東アフリカ向け小麦輸出の割合[6]



エチオピア、ケニア、ソマリアでは、2022年半ばまでに、最大3,000万人が水と食料の支援を必要としている。

アフリカ開発銀行によれば、トウモロコシの価格は36%、大豆の価格は29%上昇し、食料生産に欠かせない肥料の価格が300%、つまり3倍に上昇した。サプライチェーンの混乱は、より多くの人々を飢餓の瀬戸際に追いやることになるだろう。

食糧危機の影響

- **子どもたちへの影響**：危機は、子どもから、家、食事、教育、そして命を救う保健サービスへのアクセスを奪っている。2022年には、これら3カ国で約160万人以上の重度の急性栄養不良の子どもを含む、約550万人の子どもが急性栄養不良になると予想されている。

- **女の子と女性への影響**：ジェンダー規範と定着したジェンダー不平等により、女の子やユース女性は、食べる量を減らし、さらに最後に食べることが多く、栄養上のニーズが男の子や男性のそれよりも後回しにされることがある7。非識字、貧困、伝統的な習慣や信念による既存の男女格差のため、牧畜民の女性や女の子は、食料不安や栄養不良が高い傾向にある。

家族が深刻な食料不足に直面する中、女の子は両親の仕事や食料調達のために、きょうだいの世話をすることをますます求められるようになり、学校を休んだり中途退学せざるを得なくなる。その結果、女の子の教育はさらに優先されなくなり、教育における男女格差が拡大する可能性が高い。

食料危機は、ジェンダーに基づく暴力（GBV）、性的搾取や虐待のリスクを高め、子どもたちの教育へのアクセスを妨げている。女性や女の子は水を得るために長い距離を歩かなければならず、ジェンダーに基づく暴力にさらされるリスクが高まっている。多くの水場が枯渇したり、水質が低下したりして、水系感染症罹患のリスクも高まっている。その上、家族が水の使用量を減らし、衛生よりも飲料や料理用を優先させるため、皮膚や目の感染症のリスクが高まっている。

水不足は、保健施設や学校での感染予防や管理にも影響を与え、子どもや妊婦など弱い立場の人々への治療の質が悪化する可能性がある。

6 Refinitive Wheat Front Month Futures:https://markets.ft.com/data/commodities/tearsheet/summary?c=Whea
7 UN Women, Preventing Conflict, Transforming Justice, Securing the Peace: A Global Study on the Implementation of UN Security Council Resolution 1325, October 2015, Chapter 4- Protection, available at: http://wps.unwomen.org/

- **牧畜民への影響**：数シーズンにわたって干ばつが続いたため、牧畜民が牛に与える草や水が不足している。この問題は、放牧地の分断や主要資源へのアクセスの制限によってさらに悪化している。多くの牛が水や飼料不足で死に絶え、多くの牧民は絶望のあまり牛を非常に安い値段で売ることを余儀なくされている。

ソマリア

「家族用の水を確保するために給水車を待たなければならないので、学校に行けない日もあります。もう2日もトラックが来ず、いつ来るかわからない状態です。とても心配で腹立たしい気持ちです。給水車が来ないと、塩分を含んだ地下水を使うしかないのです」

なぜ？

- 2020年後半から3年連続で雨季の降雨量が平均を下回った。
- 2022年の人道支援計画の資金はわずか3.8%しかなかった。
- 南部地域では4人に1人が急性栄養不良に陥っているが、治安の悪さのために人道支援機関がアクセスしにくい状況が続いている[8]。

予測

- 2022年2月から5月にかけて、460万人のソマリア人が危機から緊急レベルの食糧不安（IPC 3以上）に直面する。
- 2022年5月までに食料不安は大幅に悪化し、多くの世帯で食料消費の格差が広がり、対処能力が落ちると予測されている。
- 食料やミルクの摂取量の減少、清潔な水へのアクセスの減少、体系的な食料以外の要因も、急性栄養不良と死亡率のレベルを上昇させかねない。
- 2022年5月まで食料不安はさらに悪化し、多くの世帯で食料消費の格差が広がり、対処能力の低下が予測される。
- 食料やミルクの摂取量の減少、清潔な水へのアクセスの減少、体系的な食料以外の要因も、急性栄養不良の割合と死亡率を上昇させると思われる。
- 最も脆弱な人々のニーズを満たし、人命の損失を防ぐために、人命救助と生計維持を目的とした緊急の大規模な取り組みがソマリア全土で必要とされている。

8 Plan International Sitrep_North_Ethiopia_Crisis_Response-Feb 2022

ケニア

「私のクラスには女の子が一人もいないんです。彼女たちは結婚しているか、家にいるかのどちらかです。家事はすべて女の子が担っているので、家の仕事を全部済ませてから授業に出るのは難しく、家事を続けるために学校を中途退学するのです」 タナ・リバー郡の教師。

なぜ？

主な原因は、継続的かつ累積的な干ばつと、サイクルが短い雨季の降雨不足、さらにCovid-19の大流行、害虫、地域間紛争による影響である。

予測

- ケニア、特に乾燥・半乾燥地では、貧困、食料不安、栄養不足、所得格差が依然として高い状況にある。
- 乾燥・半乾燥地域（ASAL）である全23郡で急性食料不安に直面しているのは推定310万人であり、人道支援を緊急に必要としている。
- 2022年1月に実施された急性栄養不良に関する世界的な調査でも、緊急の支援を必要とする症例数が25%増加し、支援を必要とする子どもの総数は80万人以上となっている。
- さらに、少なくとも10万3000人の妊産婦が栄養治療を必要としている。水不足と不衛生な水の消費により、上気道感染症や下痢などの疾病が増加している[9]。
- ケニア政府の国家干ばつ管理機関の中間評価によると、150万を超える動物が死亡している。
- 水を求めて移動する距離は平均12kmに増加し、多くの牧畜民の生活圏で長期平均の4.7キロを上回っている。
- 収穫は失敗し、牧畜民が生活の糧としている何百万頭もの家畜は痩せ衰え、死に絶えてしまった。
- 2021年6月現在、ケニアの人口の約14%（700万人）の人々が、十分な食料を確保できていない。
- 2021年に国家災害として宣言された干ばつは、牧畜民の生活に負担をかけ続け、世帯の回復力、収入と食料の確保、水へのアクセスを損ねている。

9 https://reliefweb.int/report/kenya/kenya-drought-food-insecurity-and-malnutrition-arid-and-semi-arid-lands-asal-dg-echo

プラン・インターナショナルの対応

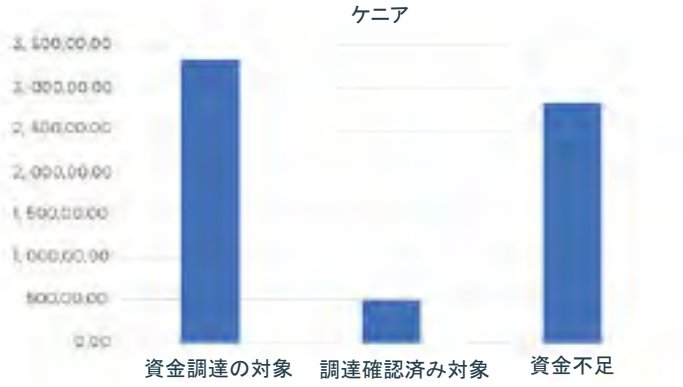
こうした状況に対し、プランは、エチオピアで65万人、ケニアで10万7,000人、ソマリアで11万人を対象に活動する予定である。ケニアでは、キリフィとタナ川でプロジェクトを実施し、ソマリアでは、トグダイヤ、ウコイ ガルビード、スール地域、エチオピアでは、オロミア、ソマリア、アファール、南部諸民族州が対象となる予定である。

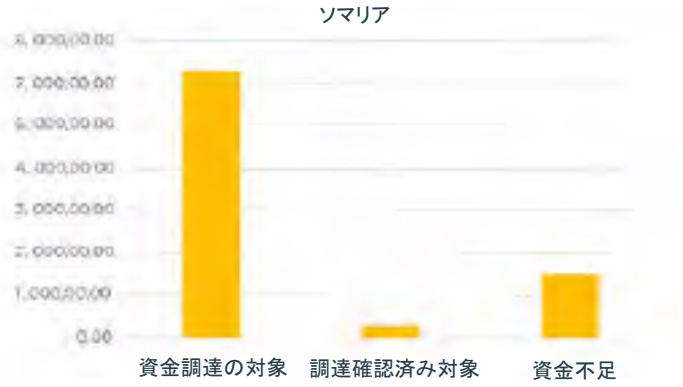
食料安全保障と栄養、教育（学校給食を含む）、WASH、保護のセクターで活動しており、私たちは、次のことを**目指している**。

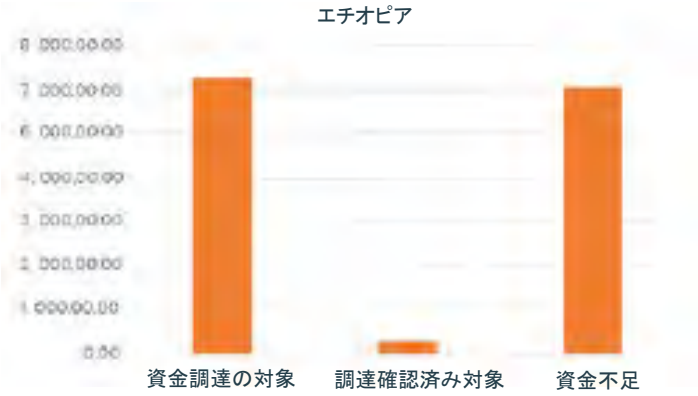
国ごとの対応のために定められた優先順位に沿って、支援を最も緊急に必要としている人たちに、命を救うための緊急支援を**提供する**。ジェンダー平等と子どもと女の子の権利を向上させるために、食料不安の危機やその他の保護リスクにおいて女の子に影響を与える特定の好ましくないな戦略に対処する。コミュニティの生計手段を保護し、コミュニティの回復力を高める。

子どもの保護に関する懸念の高まりに対応するために、コミュニティレベルでの保護メカニズムを拡大し、食料を直接配布しているところでは、女性や女の子のための保護環境を確保している。

資金調達の状況







主なメッセージ

- 人道的支援が迅速に拡大されない限り、今後数ヶ月の間にアフリカの角で大規模な人命の損失が発生する恐れがある。
- 政府と人道支援機関は、食料、栄養、清潔な水、保健医療サービスをコミュニティに提供するために、緊急に支援活動の規模を拡大させることが重要だ。
- 次の雨季の予測は依然として不確かだが、平均未満の降水量になる可能性が高いという予測もある。食料危機による最悪の影響をコミュニティが経験する前に、支援を拡大するための時間は残りわずかしかない。
- 命を救い、生活を守るために、政府とドナーによる広範な協調的人道的対応、特に食料、水、栄養補助、生計保護プログラム（給水車、飼料供給、現金給付を含む）の提供が必要である。
- 長期的には、政府は、人々の食料安全保障の根幹をなす小規模生産と家族農業に基づく持続可能で強靭なコミュニティの食料システムの開発を支援する必要がある。
- 我々は、ケニアとソマリア政府が出した緊急事態宣言を歓迎し、各国政府に対し、地域社会への包括的な支援を行うために必要な資金を割り当て、干ばつによる緊急事態を優先させるよう要請する